

## 「ひきこもり人材発掘セミナー」のご案内

NPO 法人ウヤギー沖縄は、農家の方々の協力を得て有機農法による農産物の生産、加工、販売を通して、環境保護、地域活性化、ニート・ひきこもり等の仕事につきにくい若者の自立支援を行っている非営利団体である。

KHJ 全国ひきこもり家族会連合会の調査によれば、ひきこもり本人の平均年齢は 34,4 歳で高齢化が進んでいる。そこで私どもは沖縄支部を設立し支援を始めた。しかし就労は困難な場合が多いため、地域性を活かした仕事の間を作ることを考え、コーヒーに至った。沖縄でコーヒー栽培ができることを知る人は少ない。しかし実に美味しく軽労働で希少価値がある。他人とのコミュニケーションを取るのが苦手なひきこもりの格好な仕事になり、彼らは心身ともに健康になり、経済的にも自立する。また沖縄コーヒーという、埋もれている特産物の知名度を上げ、地域を活性化する。

そこで我々は、農家や専門家の指導で彼らが生き生きと働けるようになり、沖縄の農業、観光、地域活性化に役立つことを目指し、本事業を計画した。

ところが昨年のセミナーで分かったことは、残念ながらどの支援機関にも繋がらず長期化し、家から出られない人が多いことであった。しかし我々は、本人を外に出そうとすることや仕事をするように促すのは、本人にとって良くないことを理解しているので、外に出なくても出来ることを考えた。

そこで今年、本会では保護者に呼びかけ、各家庭にコーヒーの種と育苗用トレイ、ポットを無料提供し、外に出なくても、窓際やベランダで種をトレイに蒔いて水をあげて育てると、3 か月ほどで芽が出る。これを 1 本ずつポットに移す。最初はあまり興味を示さなかった本人も次第に植物が生きていることを感じ、育てることに参加するようになる。ポットで 3 か月ほど育てると、秋には 15cm ほどになるので、本人や家族が希望すれば買い取る。そのまま自分で育てる人にはテラスや庭での育て方を教える。

ある程度苗が大きくなったところで、訪問スタッフが同行して、本会の農園に植えるように促す。つまり家から出られない人に出るように促すのではなく窓際、ベランダ、テラス、庭という順序で少しずつ無理なく外に出ることを習慣づけ、車で農園に移動して作業するという、あまり他人と接することが無い形で外出に慣れさせ、ゆっくり自立を目指すという計画である。

また家庭の食物残渣をコンポストに入れて、ミミズを飼う。ミミズは残渣を食べて分解し、肥沃な土を生み出す。これも本会で買い取り、コーヒー栽培に活かす。勿論ご家庭で活用するのも良いと思う。

## 記

# 「沖縄コーヒーの活用と循環型農業で ひきこもりの生き方開拓」

日時：平成31年2月17日（日）午後2時から4時

場所：那覇市銘苅2-3-1 なは市民活動支援センター2階会議室③

内容：まだ家から出られないひきこもり家庭に対し、「無理して家から出なくても、まずは自宅の窓際、ベランダ、テラス、庭等でコーヒーの苗を育てるために、種（豆）、トレイ、ポット、育て方ノウハウを無料配布し、また家庭の食物残渣をミミズに与えて堆肥を作るためにコンポストも配布することを紹介する。その場でアンケートを取り、希望者には期日を決めて無料配布する。

講師：近藤 正隆 氏：NPO 法人ウヤギー沖縄理事長

NPO 法人全国ひきこもり家族会連合会監事

田崎 聡 氏：NPO 法人食の風理事長、6次産業化プランナー  
有限会社楽園計画代表取締役社長

司会：国吉 大介 氏：KHJ 全国ひきこもり家族会連合会沖縄支部代表

定員：40名

費用：500円（当事者は無料）

対象者：家から出られないひきこもり家庭の保護者及び関係者、関心のある方

参加申込：参加ご希望の方は2月15日（金）までに下記にお願いします。

主催及び問い合わせ先：NPO 法人ウヤギー沖縄 <http://www.uyagi-oki.org/>

（那覇市銘苅2-3-1 なは市民活動支援センター内

TEL080-4090-4388 E-mail:kondo@jyda.jp） 担当：近藤 正隆